

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育の思想と歴史		2年	後期	火曜日・2時限
History of the Development of early Childhood education				
単位数	授業の形態	授業の性格		
2単位	講義	選択 (保育士養成課程選択)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
教育原理 教育方法論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教育課程概説 教職実践演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
藤原保利	本館2階	火・水・木・金の9時から16時(授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
アメリカ・ヨーロッパにおける就学前教育の政策と保育・教育の歴史を中心に講義し、日本の幼児教育、保育の改革の方向性を考える。またイタリアにおけるレッジョ・エミリアの保育思想とその歴史についても考究する。				
授業の到達目標				
○アメリカ・ヨーロッパ(特にイタリア)を中心に就学前教育・保育の歴史的流れを説明することができるようにする。 ○アメリカ(ハイスコープ)・イタリア(レッジョ・エミリア)を中心とする欧米の就学前教育・保育の現状と課題を理解し、併せて日本の幼児教育・保育の改革の方途を考究することができるようにする。				
授業の方法				
基本的に板書を中心として講義形式で行う。適宜DVDを視聴する。単元終了毎に小テストを行う。学期末にレポート提出を求める。「調べる・考える学習」を重視した授業の展開を図る。				
学習の成果				
○アメリカにおけり幼児教育の発達の歴史を時代背景とともに説明することができる。 ○ヨーロッパ(特にイタリア、スウェーデン)の保育の現状と課題を正しくとらえて、改革の方向性を示すことができる。 ○欧米の幼児教育の目的、内容、方法を我が国の保育の現状と比較して、それぞれの長所、短所を正しく比較、分析、識別することができる。 ○欧米の保育の優れた点を日本の保育の課題解決に活用することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 授業の概要と進め方の説明 レポートのテーマと提出期限等について説明			
第2回目	アメリカ就学前教育・保育運動のヨーロッパの起源			
第3回目	アメリカにおける幼児学校と家庭学校			
第4回目	フレーベルとドイツの幼稚園運動 <小テスト>			
第5回目	アメリカにおける初期の公・私立幼稚園			
第6回目	アメリカにおける無償幼稚園運動と保育の論理			

第7回目	アメリカにおける公立幼稚園の創設　　〈小テスト〉		
第8回目	アメリカにおける私立保育学校の出現		
第9回目	現代のアメリカにおける乳幼児教育(保育)の現状と課題		
第10回目	アメリカにおけハイスコープの幼児教育理論とカリキュラムーアクティブラーニングを中心にー　　〈小テスト〉		
第11回目	イギリスにおける幼児教育の史的展開とナショナルカリキュラムについて　　教育と「チャイルドケア」の統合		
第12回目	スウェーデンにおける幼児教育の史的展開と就学前カリキュラムについて　　就学前学校の実践と新しい保育制度		
第13回目	イタリアにおける幼児教育の史的展開とレッジョ・エミリア　　〈小テスト〉		
第14回目	レッジョ・エミリアの保育実践　　レッジョ・エミリア・アプローチの基礎（デューイ、ヴィゴツキー、ピアジェ）		
第15回目	まとめと試験（解説とまとめ）		
成績評価の方法と基準			
評価の領域	割合	評価の基準	
授業参加態度	10%	以下の事柄で評価する。授業で使われる教材を準備して臨んでいる。ディスカッションの場で自分意見を述べる。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問する等々。（詳細はガイダンス時に説明する。）	
レポート	20%	詳細に課題を探求し、内容構成もしっかりしており、課題の要件を十分に満たしている。（詳細はガイダンス時に説明する）	
調査報告書			
小テスト	20%	単元終了時に小テストを4回実施する。授業や教科書に書かれている内容が十分に理解されている。（詳細はガイダンス時に説明する）	
中間・学期末試験	50%	論述式である。設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び教科書に書かれている範囲を超え、自分の考え方が示されている。（詳細はガイダンス時に説明する）	
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
教科書：「保育原理」待井和江編　ミネルバ書房　　参考書：授業中に指示する			
履修上の心得・ルール			
目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等の持ち込み禁止。			